

シラバス

1. 授業科目と単位

専門科目「生理科学特別講義」 1-3

(X)講義 ()演習 ()実習

1単位

2. 履修対象者

全研究科

生理科学専攻の D1, D2, D3

3. 授業担当教員

生理科学専攻教授および准教授あるいは生理学研究所客員教授

4. 授業実施期間

対面講義:2011年4月～2012年3月

(すべて水曜日)15:00～17:00

5. 授業実施場所

山手地区：3号館9階セミナー室 B

明大寺地区：職員会館2階大会議室

遠隔講義システムにより配信

6. 履修条件、受講方法

申請は履修届を大学院係に提出することによって行う

7. 授業内容の概要

生理科学のさまざまな分野の最近の進歩や最先端の研究成果について、それぞれの分野の専門家による開設を行う

8. 授業の達成目標

生理科学の最先端の研究内容、幅広い分野の知見を理解する

9. 授業計画：対面講義の日程

第1回 4月13日

「睡眠覚醒を調節する神経メカニズム」

山中章弘(生理科学専攻)

第2回 5月18日

「細胞は何種類あるか」

瀬藤光利(生理学研究所)

第3回 6月15日

「In vivoパッチクランプ法を用いた内因性痛覚抑制機構の解析」

古江秀昌(生理科学専攻)

第4回 9月28日

「ゼブラフィッシュ運動系神経回路の発生と機能」

東島真一(生理科学専攻)

第5回 10月19日

「神経回路機能をひも解く新技術」

伊佐 正(生理科学専攻)

第6回 11月2日

「大脳皮質の、情報処理の基盤となる神経回路」

吉村由美子(生理科学専攻)

第7回 12月7日

「食欲と代謝の新しい調節因子ネスファチンとオキシトシン」

矢田俊彦(生理学研究所)

第8回 1月18日

「グリア細胞の機能と病態」

池中一裕(生理科学専攻)

第9回 2月15日

「大脳皮質—大脳基底核ループと大脳基底核疾患」

南部 篤(生理科学専攻)

第10回 3月21日

「パルミトイル化脂質修飾によるタンパク質の局在決定機構」

深田正紀(生理科学専攻)

10. 使用参考書、参考文献

なし

11. 単位取得要件と成績評価基準

単位取得要件に半数以上の出席を必須とする。評価については、教育カリキュラム担当教員が100点満点を持って評価し、60点以上を合格とする。